

1 事業概要

		課名	リニア推進課	事業No.	33
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	H10	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
法令・例規等					
事業目的	対象	市民			
	意図	市民の地域公共交通利用			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)						
	飯田市地域公共交通改善市民会議を開催し、バス・乗合タクシーの運行、利用促進について協議しました。乗合タクシー山本西部山麓線の実証運行を行い、本格運行の基準を満たしたため、令和2年4月から本格運行を決定しました。マタニティ割引の導入と公共交通の日（バス運賃割引）を実施し、新たな利用者の確保に努めました。 EVバス運行実証に向けた「新たなモビリティの活用実証に係る基本協定」を締結しました。 新たなモビリティ検討チーム勉強会を開催し、自動運転とMa a Sの研究に取り組みました。		一般乗合旅客自動車運送事業補助金			116,952							
			地域公共交通改善市民会議負担金			3,180							
			南信州広域連合負担金（地域公共交通事業）			1,581							
			地域公共交通改善市民会議委員報酬ほか			245							
			その他の経費			0							
			指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
						計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
			運行支援する市民バス路線数		路線	9	9	9	9	9	9		
			運行支援する乗合タクシー路線数（実証含む）		路線	14	14	13	13	14	14		
地域公共交通改善市民会議開催数		回	2	2	2	3	2	2					
実証運行路線数		路線	1	1	0	0	1	1					
バスの年間延べ利用者数		人	364,715		368,859		354,394						
乗合タクシーの年間延べ利用者数（実証含む）		人	22,110		20,782		19,317						
1年度決算(千円)	予算額		134,295		特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		121,958		(地) 過疎対策（充当率100%） (そ) 財産収入								
	財源の状況	国庫支出金		0									
		県支出金		0									
		地方債		35,400									
		その他		7,315									
一般財源		79,243											

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	15	1	134,295	121,958	市民バス等運行業務費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識 ・利用者数は373,711人で、前年度比4.1%・年間延べ15,930人減少しました（バス利用者：前年度比3.9%・年間延べ14,465人減少、乗合タクシー利用者：7.0%・1,465人減少）。バス利用者の減少は、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、高等学校の臨時休校が影響しました。 ・乗合タクシーの利用者が減少しており、新たな利用者の獲得が必要です。									
上記の課題解決のための有効策 ・地域公共交通改善市民会議及び部会において、利用者の意見を聞き、利用者にとって使いやすいダイヤ及び停留所の公共交通を提供します。乗合タクシーの乗り方教室を実施し、利用者の掘り起こしを行います。 ・新たなモビリティ（自動運転、Ma a S、EV等）活用の検討に取り組みます。									
次年度に向けての取り組み ・伊那谷自治体会議との連携、リニアトランジット・地域モビリティ検討会及び新たなモビリティ検討チーム会議を開催し、二次交通の検討を進めます。 ・EVバスの運行実証を実施します。									